

月日が経つのも早いもので、約4カ月が経過しました。12月のテラホートは雪が積もることはありませんでしたが、とても寒いです。大学内には、枝の周りにライトが取り付けられ、夜になるとライトが光り、イルミネーションのようになります。また、どの寮内もクリスマスツリーやライト、クリスマスに関するものが置かれて、デコレーションされています。それでは12月分の報告書では、新しく始まった冬学期についてと留学を含め今年1年間を振り返って思うことと留学生活残り約2カ月の抱負を述べていきたいと思います。

1. 冬学期に入っの自分

12月20日から冬休みが始まりました。冬学期が始まってまだ約3週間しか経っていないが、充実した中身の濃い3週間になったと感じています。その期間の中に大きなテストがあり、LABという実験を主体とした授業の時間が週1回ずつありました。そのLABのために、週に3回ミーティングがありました。金沢工業大学と同じくらいまたはそれ以上のタイトなスケジュールで過ごしました。心身ともに疲れたことはありましたが、学生らしいことをしているなど実感しました。図1は実際にLABで行ったことです。

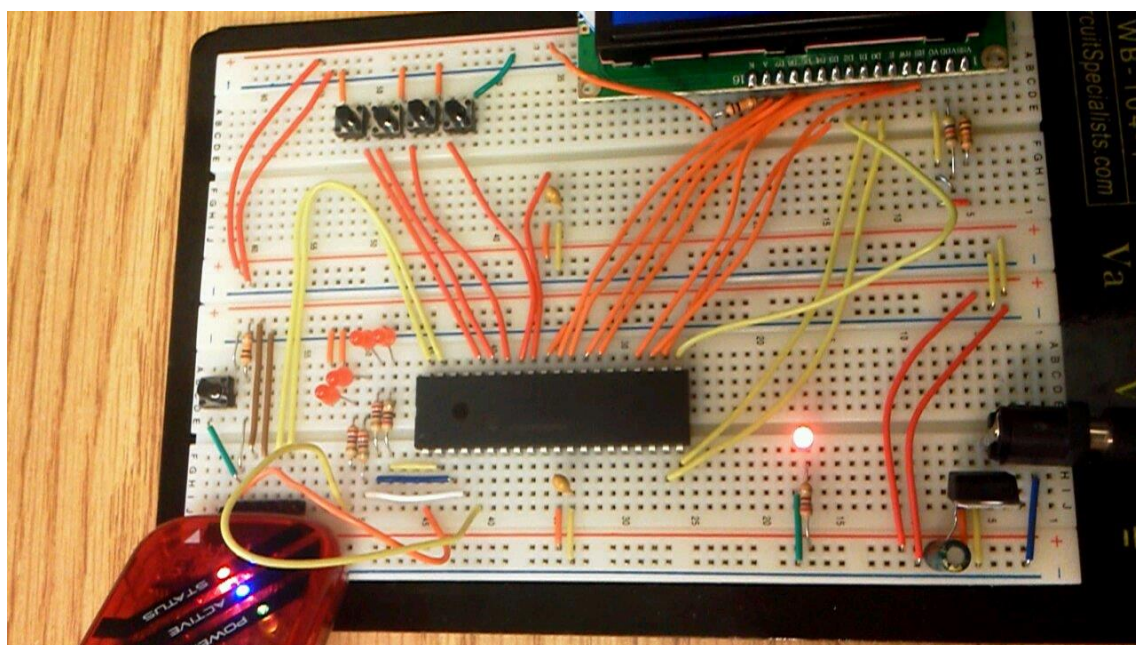


図1 LABで設計した回路

授業面に関して言うと、この冬学期は金沢工業大学で深くまで勉強していない部分を主に勉強しようと思い、それに見合った科目を選択しました。常に講義の内容やアプリケーションに関して新しいことを学んでいる日々で、聞いたり調べたり、一つでも多く吸収しようと努力して大変ではあるが、楽しい日々になっています。

言語についてはようやく相手が何を伝えようとしているのかほとんどわかるようになってきました。また、自分の思っていることを相手に伝える回数も増えてきました。ただ、これはようやく基礎の土台ができたところで、これからいろんな人と会話してさらにスキルアップをしていきたいです。

2. 今年を振り返り、次への抱負

ローズハルマン工科大学に留学して約4か月経って、また2014年を終えて、挑戦した年になったのではないかと思います。留学をはじめとして、更に高みを求めることや保守的にならないことを貫くことができました。常に何かしらの目標があった状態でそれに向けて努力している毎日で、楽しい日々になりました。知らない領域に足を踏み入れることは、恥ずかしいことではないということ留学して学びました。留学生活も残り約2か月、更に挑戦する姿勢を続けることと楽しんでいくことを目標に頑張っていきたいと思います。以上で、12月分の派遣留学報告書を終わります。